

MEDICAL NEWS

キッコマン メディカル ニュース

No.
22

ホームページアドレス ▶ <http://www.kikkoman.co.jp/hospital/>

小児感染症の流行カレンダーを活用しよう

● 小児科
荒山 隆

小児感染症の流行カレンダー

小児科外来で診る病気の半数以上は、感染症です。私達小児科医は、感染症の特徴を理解して診察を行っています。その一例として、小児がかりやすい感染症には流行しやすい季節や年齢があることを熟知しています。特に感染症の流行カレンダー(図)を知ることが日頃の感染症対策に役立ちます。

代表的な小児感染症の好発季節



3月に入り、インフルエンザが下火になつた後もロタウイルス胃腸炎が乳幼児を中心に流行します。4月は比較的落ち着き、ライノウイルスやパラインフルエンザウイルスなどによる普通感冒が目立って来ます。年によってかなり変動しますが、この季節に麻疹やムンプスウイルスによる流行性耳下腺炎が幼児

を中心に流行し出します。また、風疹が流行することもあります。



7~8月を中心に、エンテロウイルスやコクサッキーウイルスなどによる手足口病やヘルパンギーナが乳幼児に流行します。胃腸炎も流行します。ときにエンテロウイルスなどによる無菌性髄膜炎が流行することがあります。また、高熱を特徴とした「夏かぜ」のアデノウイルスも流行します。同ウイルスによる咽頭結膜熱(プール熱)の流行もあります。細菌感染症では、主に黄色ブドウ球菌による伝染性膿痂疹(とびひ)が幼児を中心に流行します。なお、初夏を中心にヒトパルボウイルスによる伝染性紅斑

(りんご病)が学童を中心に流行することがあります。



9月になると感染症は落ち着き、再びライノウイルスなどによる普通感冒の流行が目立ちます。ときに気管支喘息発作の引き金になることがあります。11月に入ると、RSV(小型球形ウイルス)などによる感染性胃腸炎が全年齢に流行し出します。また、RSウイルス感染症が流行し、乳児に細気管支炎を発症させます。パラインフルエンザウイルスなどによるクループ症候群も乳児に発症することがあります。なお、秋を中心にマイコプラズマ肺炎が流行

季節よりみたウイルス感染

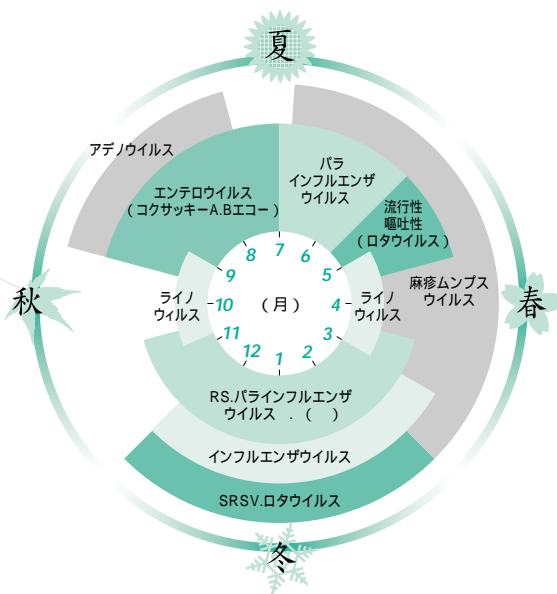


図 小児感染症の流行カレンダー
(「小児科」43巻別冊より抜粋)



12月後半に感染性胃腸炎が下火になると、いよいよインフルエンザの流行が始まります。本格的な流行は1月半ばから2月後半まで続きます。一般的にA型の流行から始まり、B型の流行に移りて行きます。1月より乳幼児にロタウイルス胃腸炎が流行し出します。また、RSウイルスやパラインフルエンザウイルスの流行も続きます。細菌感染症では、秋～春を主に溶連菌感染症が幼児を中心に流行します。水痘は幼児を中心に冬から春にかけて流行します。なお、突発性発疹や百日咳には大きな季節変動はありません。

1 予防に活用

感染症カレンダーを大いに活用しましょう

流行時期を知ることにより、早めに予防の対応ができます。特に流行季節、感染しやすい年齢、重症化しやすい年齢などを考慮して、予防接種を済ませておくことが大切です。そして何よりも、流行のピーク時は人込みをなるべく避ける、手洗いやうがいにも努める、生活リズムをくずさない、などの日常対策が大切です。

2 診断に活用

私達小児科医は、常に流行の出現を

予測し、その推移を検討しながら診療を行っています。そして、的確な診断に努めています。その際に感染症の流行カレンダーが大いに参考になります。

3 治療に活用

上記②と関連しますが、的確な診断をすることにより適切な治療を行うことができます。

小児感染症のほとんどがウイルス感染症

1 抗生剤は無効、一部で抗ウイルス剤が有効

小児感染症のほとんど、特に「かぜ」の約90%はウイルス感染症により発生しますが、ほとんどの「かぜ」は症状に合わせた対症療法で治療することになります。抗生剤は主に細菌感染症に用いますので、ほとんどの「かぜ」で無効です。不必要な使用は慎むべきです。なお、インフルエンザなど一部のウイルス感染症に有効な抗ウイルス剤があります。

2 こんなときに抗生剤が必要

上に述べたように、抗生剤は、溶連菌感染症や百日咳、伝染性膿痂疹などの細菌感染症で用います。細菌感染症以外では、マイコプラズマ肺炎などで用います。症状だけで細菌感染症か否かが分からないときは、検査(血液検査、迅速

検査、尿検査など)を行って判別する必要があります。そして、必要なときには抗生剤をきちんと用いることです。

3 解熱剤(熱さまし)を上手に使いましょう

最後に、解熱剤について一言。感染症による発熱は、病状を改善するように作用します。したがって、不必要に熱を下げることは慎むべきです。特にインフルエンザでは、ジクロフェナクナトリウムやメフェナム酸などの解熱剤が脳炎・脳症を悪化させるという理由で使用禁止になっています。一方、対症療法が主な治療であるウイルス感染症の場合、苦痛症状を和らげることも大切な治療です。上手に解熱剤を使うことにより、少しでも安静を保ち体力を維持することができます。私達小児科医は、第一選択の解熱剤としてアセトアミノフェンを用います。



- ① 感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
- ② 千葉県感染症情報センター
<http://www.phlchiba-ekigaku.org/>

院長コラム

いつまでも若く元気で
病気になるない予防医学

キョトマン総合病院
院長 久保田 芳郎

高齢化社会を迎えつつある我が国において病気になるための「抗加齢・抗老化医学」はますますその重要性を増しています。これからはみなさんひとりひとりが医学知識を身につけ、自分の責任において健康を管理していくことが大切です。

あるアンケート調査によれば、健康に関心がある「との回答は89%にのぼり、現代の日本人にとって「健康」は大きな関心事であることがわかります。しかし、「健康に自信がある」との回答は42%に留まっており、健康に関心はあるが自信がもてないという現代人像が浮き彫りになっています。

健康は日頃のライフスタイルから生まれます。現在日本人の死因の第1位は癌、第2位が心臓病、第3位は脳血管疾患となっています。これらの疾患はいずれも食事、運動、休養、酒タバコといった日頃のライフスタイルから生まれてくることから、「生活習慣病」と呼ばれています。不健康な生活を送っている人は病気になるより早く、健康な生活を送っている人は病気になるににくいのです。考えてみればあたりまえのことです。

私も2年前に健康診断で異常値が見つかり、緊急手術で危ないところを救われた経験があります。多くの人は健康に自信はもてないものの、病気という災害といっしょで、自分は大丈夫だ。自分には関係ない。」と思っています。しかしそんなことはないのです。戦後の「食い過ぎと運動不足」のつげが確実にあなたにもまわってきています。

いつまでも若く元気でいるために、もう一度自分のライフスタイルを見直しましょう。そしていつまでも健康でいるために自分自身で努力しましょう。

常勤外来 担当医師 紹介



院長(外科)
くぼた よしろう
久保田 芳郎

専門分野 消化器外科、大腸肛門外科

東京大学1974年卒業
(医局:東京大学第一外科)

医学博士、日本大腸肛門病学会評議員・
専門医、日本消化器病学会関東支部
会評議員、日本外科学会認定医、日本
消化器外科学会指導医・認定医、日本
消化器病学会指導医・専門医、日本医
師会認定健康スポーツ医、日本医師
会認定産業医・日本人間ドック学会評
議員



副院長・内科部長
みかみ しげる
三上 繁

専門分野 消化器内科、肝胆膵内科

千葉大学1986年卒業
(医局:千葉大学第一外科)

医学博士、日本消化器病学会関東支部
会評議員、日本内科学会認定医、日本消化
器病学会指導医・専門医、日本肝臓学会
専門医、日本超音波医学会指導医・専門
医、日本消化器内視鏡学会認定医・専門
医、日本医師会認定健康スポーツ医、
日本医師会認定産業医、日本感染症学
会認定ICD(感染制御医師)、日本人間
ドック学会指定医



産婦人科部長
かわぐち たけひろ
川口 武宏

専門分野 産婦人科学一般

東京大学1970年卒業
(医局:東京大学産婦人科)

医学博士、日本産婦人科学会認定医、
優生保護医



小児科部長
あらかま たかし
荒山 隆

専門分野 アレルギー、小児科学一般

群馬大学1984年卒業
(医局:東京大学小児科)
(東京大学農学部1977年卒業)

日本アレルギー学会認定医、日本小
児科学会小児科専門医



外科部長
かわぐち よねえい
川口 米栄

専門分野 消化器外科、内視鏡外科、
呼吸器外科

東京大学1987年卒業
(医局:東京大学第一外科)

日本外科学会認定医、日本消化器外
科学会認定医



整形外科部長
おかだ はじめ
岡田 基

専門分野 関節外科

筑波大学1989年卒業
(医局:筑波大学整形外科)

日本体育協会認定スポーツ医、日本
医師会認定産業医



消化器内科部長
あきもと まさひで
秋本 政秀

専門分野 消化器内科、肝胆膵内科

千葉大学1990年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

日本消化器病学会専門医



外科医長
かなざわ たかみつ
金沢 孝満

専門分野 外科一般

東京大学1993年卒業
(医局:東京大学第1外科)

日本外科学会認定医



循環器内科部長
むらた ひろし
村田 博

専門分野 循環器内科部長

東京大学1994年卒業
(医局:東京大学循環器科)

日本循環器学会専門医、日本内科
学会認定医・専門医、日本医師会認定
産業医



眼科部長
おおひら あや
大平 文

専門分野 眼科一般

慶応義塾大学1995年卒業
(医局:慶応義塾大学眼科)



産婦人科
えんどう まさひろ
遠藤 正裕

専門分野 不妊症

獨協医科大学1994年卒業
(医局:東京大学産婦人科)

日本産科婦人科学会認定医



内科
しみず しろう
清水 史郎

専門分野 消化器内科学

富山医科薬科大学1995年卒業
(医局:千葉大学第一内科)

医学博士



整形外科(新任)
わだ ひろし
和田 大志

金沢大学1999年卒業
(医局:筑波大学整形外科)



外科
やぎ こういち
八木 浩一

東京大学2001年卒業
(医局:東京大学第一外科)



内科
たなか たけし
田中 健史

兵庫医科大学2002年卒業
(医局:千葉大学第一内科)



診療担当表

受付時間 午前8時～11時、午後1時～3時(小児科のみ診察は2時30分より)

平成16年2月1日現在

診療科		診療案内	月	火	水	木	金	土
内科	午前	消化器	三上	清水	秋本	清水	三上/田中	秋本
		生活習慣病		麻生				
		循環器		村田	村田	村田		村田
		呼吸器	赤出川			伊藤		
		腎臓						太田
	午後	消化器			田中		清水	
		循環器	村田					
		呼吸器	赤出川			伊藤		
外科	午前	総合・消化器	久保田	金沢	川口(米)	川口(米)	久保田	川口(米)
			金沢				金沢	八木
産婦人科	午前	総合	川口(武)	遠藤	川口(武)	東大派遣医	遠藤	川口(武)
	午後	総合	遠藤		川口(武)		遠藤	
小児科	午前	総合	荒山	荒山	荒山	康	荒山	荒山
	午後	総合	荒山	荒山	荒山	赤木/阿波	荒山	
整形外科	午前	総合	落合	岡田	野内	尾登	岡田	岡田
			岡田/和田	和田		和田	和田	和田
耳鼻科	午前	総合	曜日の変更がありますのでお問い合わせ下さい。		久松	久松		
	午後	総合			久松	久松		
眼科	午前	総合	渡辺/中島	大平	大平	中川	大平	大平
皮膚科	午後	総合			医科歯科大派遣医		医科歯科大派遣医	
泌尿器科	午後	総合			根岸	根岸		
脳神経外科	午後							東大派遣医

全科で予約診療を実施しています。電話での予約受付時間は午後2時より4時まで。

専用電話番号

04-7123-5932 (内科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・小児科)

04-7123-5919 (外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・脳神経外科)

受診の際は診察券を御忘れなく、月初めの受診日には保険証をお持ち下さい。

循環器・消化器病検査担当表

平成16年2月1日現在

検査名		月	火	水	木	金	土
胃内視鏡	午前	川口/八木/清水	三上/田中	清水/田中	金沢/八木	秋本	三上
腹部超音波	午前	秋本/田中	秋本		三上/田中		三上/清水/田中
乳腺・甲状腺超音波	午前			金沢/八木		川口/八木	
胃・大腸X線検査	午前	田中	八木	清水/田中	金沢/八木	清水	
大腸内視鏡	午後	三上/秋本/清水	久保田/金沢	秋本/清水	川口/金沢	三上/秋本/田中	
心臓超音波検査		村田(11:00~)		村田(14:00~)		村田(11:00~)	
心臓カテーテル検査	午後		村田			村田	
エルゴメーター検査	午後			村田	村田		

専門外来・特別診療のお知らせ

(詳しくは各外来にお尋ね下さい。)

内科	運動療法科(木曜日午後)	整形外科	装具外来(火曜日午前)
産婦人科	母親学級(第2・第4木曜日午後)	泌尿器科	男性不妊外来(水曜日午後)
小児科	内分泌(第2火・第1金曜午後) 血液(木曜午前) 腎臓(第3水曜午後) 神経(第3土曜午前) 循環器(第2土曜午前) 乳児健診(毎週土曜午後) アレルギー(木曜日を除く総合外来日) 予防接種(毎週火曜日~金曜日午後)		
整形外科	特別診療(毎週月曜日午前 担当:筑波大学整形外科 落合直之教授)		

**お知らせ
コーナー**

駐車場完成 2004年1月



外来駐車場が拡張されました。使用時間は、7:00~20:00です。ご利用下さい。

クリスマス会 2003年12月



今年はトナカイ!?も参加し、盛大に行われました。

院内勉強会 2003年



院内の研究発表会がありました。創意工夫を重ね、より信頼される医療を目指します。

2004年キックマン総合病院カレンダー

1 January	2 February	3 March	4 April	5 May	6 June
日 月 火 水 木 金 土 ① ② ③ 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 ① 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
臨時休診日	1月1日(木曜日) 1月2日(金曜日) 1月3日(土曜日) 5月1日(土曜日) 8月13日(金曜日) 8月14日(土曜日) 10月16日(土曜日) 11月6日(土曜日) 12月30日(木曜日) 12月31日(金曜日)				

おもな
非常勤外来
担当医師
紹介



整形外科
(月曜日午前)
おち あい なお ゆき
落合 直之

専門分野 上肢機能外科
東京大学1973年卒
(医局:筑波大学整形外科)
医学博士、筑波大学整形外科教授、日本整形外科学会認定医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本整形外科学会評議員、日本手の外科学会評議員、日本臨床スポーツ医学会評議員、日本肘関節研究会理事



整形外科
(水曜日午前)
や ない たか じ
野内 隆治

専門分野 整形外科一般
信州大学1996年卒業
(医局:筑波大学整形外科)



リウマチ科
(木曜日午前)
お の ぼり まこと
尾登 誠

専門分野 リウマチ関節疾患
骨軟部腫瘍
筑波大学1987年卒業
日本整形外科学会認定医、日本リウマチ学会認定医、日本リウマチ財団登録医



内科
(土曜日午前)
おお た よしあき
太田 義章

専門分野 腎臓内科・脂質代謝
千葉大学1978年卒業
(医局:筑波大学腎臓内科)

医学博士、日本内科学会認定医、日本腎臓学会専門医



小児科
(木曜日午前)
こう かつよし
康 勝好

専門分野 小児血液腫瘍学
東京大学1992年卒業
(医局:東京大学小児科)



小児科
(隔週木曜日午後)
あ き ぎ み ち お
赤木 美智男

専門分野 小児循環器病学
東京大学1979年卒業
(医局:杏林大学小児科)

医学博士、杏林大学医学教育学教授、日本小児科学会小児科専門医



小児科
(隔週木曜日午後)
あ わ しやういち
阿波 彰一

専門分野 小児循環器病学、
システム生理学
東京大学1961年卒業

医学博士、小児科学会小児科専門医、前杏林大学小児科教授



内科
(木曜日午前・午後)
い どう としひろ
伊藤 利洋

専門分野 気管支喘息
奈良県立医科大学1999年卒業
(医局:奈良県立医科大学
呼吸感染症血液内科)



内科
(月曜日午前・午後)
あ か で が わ けんじ
赤出川 賢治

専門分野 呼吸器内科
千葉大学1995年卒業
(医局:千葉大学呼吸器内科)



生活習慣病
(火曜日午前)
あ そ う よしまさ
麻生 好正

専門分野 糖尿病、内分泌代謝
群馬大学1987年卒業
(医局:獨協医科大学一般内科)

医学博士、獨協医科大学内科助教授、日本糖尿病学会指導医・専門医、日本内分泌学会評議員・専門医、日本内科学会専門医



泌尿器科
(水・木曜日午後)
ね ぎ し たけはる
根岸 壮治

専門分野 泌尿器科一般
東京医科歯科大学1960年卒業
(医局:東京医科歯科大学泌尿器科)

医学博士、日本泌尿器科学会専門医・指導医 (元春日部市立病院長)



(水曜日・木曜日)
ひ さ ま つ ゆうし
久松 雄志

専門分野 耳鼻科一般
獨協医科大学1992年卒業
(医局:東邦大学耳鼻科)

医学博士、日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本医師会認定産業医



眼科
(隔週月曜日)
な か じ ま ひ で と
中島 秀登

専門分野 眼科一般
慶応大学1997年卒業
(医局:慶応大学眼科)



眼科
(隔週月曜日午前)
わ た べ
渡辺 たまき

専門分野 眼科一般
東京女子医科大学2002年卒業
(医局:慶応大学眼科)



眼科
(木曜日午前)
な が が わ り か
中川 里佳

専門分野 眼科一般
浜松医科大学1996年卒業
日本眼科学会専門医



VOICE

ひろば 声の宅急便



旅行大好き!!

内科医師
田中 健史

あるのか、近くに美味しいラーメン屋さんがあるのか必ずチェックします。これまでの経験で一番印象深かったのは、大学生の時に友人達と行った和歌山への旅行です。

僕は旅行が大好きです。旅行の楽しみ方は人それぞれかと思いますが、僕の旅行では温泉、ラーメンが欠かせません。旅行先を決める際にはどんな温泉が、和歌山ラーメンの食べ方をみなさんはご存知でしょうか?「何バカげた事を言ってるんだ! 箸使って、どっぷり持って食べるんだろう!」そんな答えが返ってきたのですが、そう言うことではないんですね。和歌山のラーメン屋さんには必ずと言っていいほど、「お寿司」が置いてあり、そのお寿司を食べながらラーメンをすすります。僕も初めて行った時「何でラーメン屋さんにお寿司が!?!」と思いました。これが意外と美味しい! みなさんも和歌山に行く機会がありましたら是非試してみてくださいね。

医師となつてからは、なかなか遠くに足を運ぶことができませんが、新たな温泉、新たな味への追求は今後も続けて行くつもりです。



気ままにひとり旅

3北病棟看護師
加藤久美子

と離れて時々ひとり旅をしている。仲間との旅行での楽しさ感動も格別ではあるが、何かちがう自分を発見したくなり出かける。今年の3月に初めて海外旅行を試してみた。初めての海外、ツアーといえどもひとりである。不安は、たくさん山積みされ

私には、旅行をしたり食事をしたりする仲間がいる。3年位前からなるだろうか? ちよつとだけその仲間と離れて時々ひとり旅をしている。出発する時、東京も桜が咲く頃ではあったが、まだちらほらとしか咲いておらず、そんな3月26日に訪れたバンクーバー、ヒクトリアでは、満開の桜が迎えてくれ、ガーデンには、様々な花々が咲き、花好きの私には、たまらない感激!

広大な土地、整然とした街並、手入れのいきとどいた家々の庭、春色のカナダを満喫しました。ひとりだからその風景に溶け込め土地を感じ人に出会う。ひとりの時間だからこそ魅力があるのだとつくづく思います。

良いお天気に恵まれ、たくさんの感動があり、自然を満喫し楽しい心に残る思い出の旅でした。次はどこに行こうかしら、夢はふくらみます。

健診へのご案内



健診室長
佐々木 耕一

最近、とみに個人の話の中に、またマスコミの話題、番組テーマに健康に関するものが取り上げられない日はないと言えるほどの時世になっていると思われま

す。特に、個人の平均寿命が男性78歳、女性84歳(2001年)を越えている現在、周囲に90歳を越えて元気に暮らしている方が存在するのも珍

しくありません。こうした高齢化時代に備え、一人一人が健康に関し多くの知識を身に付け、健康であることを求める気持ち次第に大きくなっていくことは否定できません。ちなみに、当院の人間ドックの実施者数を考えてみますと5年前の1999年は192名でしたが、今年



うとしています。2倍近い伸びとなっています。

また皆様のご要望にお答えすべく、人間ドックの高度化にも努めており、最新のMRI装置を活用し頭部MRI検査、MRA検査をオプションに組み込んでいます。頭部CT検査では描出することの難しい初期の小脳梗塞や小動脈瘤の発見に役立っています。また、健診後の二次検査、精密検査に関しては当院の最も得意とするところです。内科領域における内視鏡による検査・治療、外科領域における内視鏡手術、昨年より開始された最新の装置を用いた心カテーテル検査及び治療と枚挙に暇がないほどです。

人間ドックと共に企業健診にも多くの力を注いでいます。現在の経済情勢を考えると、大部分の企業が厚生費としての健診に費用をかけづらいのは当然のことと思われます。しかしどんな健診であっても継続することにより多くの情報が蓄積されます。そうした情報は従業員の方の健康の維持・向上に役立ち、企業様の業績向上に資すると信じています。企業

様の発展が当院の発展につながる、そうした形がひとつの理想と私たちは考えています。

常日頃、当院の行っている健診が本当に役立っているのだろうか、よりよいものにしていくには何が必要なのだろうか、私たちは自問自答しているところで、ソフトの面ではそのつにホスピタリティの向上があると思われま

す。ソムリエ・田崎真也さんは「ホスピタリティを具体化する」サービスマンとしての理想は、相手の嫌いな事、嫌がることを敏感に感じ取り、控えて自分をコントロールでき、必要時に用を足すことのできる人」と語っています。頭の中で思

い描く事はできても実現するのは中々難しい事です。更に、作家・伊集院静さんは、私たちの仕事は、自分だけが良ければいいと言う仕事であっては卑しいだけです。仕事の基本というのは、自分以外の人のために何かをすることだと思

う」と述べています。彼の確信に私たちは同意し、少なくとも、仕事を通じての会話の中から、相手の方の考え方、人生観を学び取っ

ていこうとする感性を失わないよう、努めていくつもりでいます。

編集後記

寒さの真ただ中ですが、暦の上ではもう立春です。

春の気配が現れてくる日、この日以降初めて吹く南寄りの強風を「春一番」といいます。また前日が節分で、「鬼は外、福は内!」と炒った豆を蒔き、蒔かれた豆を自分の年の数だけ食べ、一年の無病息災を願っていました。なぜ豆(大豆)を蒔いて食べるのか?大豆は良質なたんぱく質を含んでいて、健康によいことを昔の人は知っていたのか。

大豆は、味噌や醤油、豆腐、納豆などに加工され私たちの食生活に定着しています。「脳の栄養素」と注目され、高血圧・動脈硬化予防・痴呆防止等に効果があるとされる大豆レスチンや更年期障害改善・骨粗鬆症予防等に効果があるとされる大豆イソフラボンなどを含む健康にいい大豆を食べ「カゼの鬼を追い払う」との意味があったか?しかし、この頃あちらこちらから「鬼は外、福は内」の元気な声が聞かれない。

「日本の良き伝統行事を滅ぼしてはいけない」と思っているのは私だけだろうか?

総務課 前原

発行 キッコマン総合病院広報委員会

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100

TEL 04-7123-5911 FAX 04-7123-5920

ホームページアドレス <http://www.kikkoman.co.jp/hospital/>
メールアドレス hospital@mail.kikkoman.co.jp

